

麻酔科この一年

麻酔科医長 櫻井 行一

診療体制

平成18年4月の時点での人事移動はなく、4人体制を維持しておりましたが、9月末に神田浩嗣医師が2年半の名寄勤務を終え旭川医大麻酔科蘇生科に転勤となり、10月以後は櫻井行一、舘岡一芳、大友重明の3人体制となっています。本年度は臨床研修医の救急・麻酔研修として、2007年3月末までの予定を含め、5人がローテーションしました。榎谷将偉（3ヶ月）、上田寛人（3ヶ月）、大石由利子（3ヶ月）、原田修人（3ヶ月）、鈴木裕子（2ヶ月）の研修が終了しています。

手術麻酔

本年度の麻酔科による管理症例は1550例を初めて超えました（昨年度は1500例超）。本年度は、後半3人体制となりましたが、充実した安全な麻酔管理ができたものと自負しております。皆様のおかげで大きな事故もなく一年が過ぎたことに感謝しています。

外来診療

当院でも緩和医療チーム（院内病棟型）が結成されて、ペインクリニックに関しても多くの課題が挙げられた年でした。外来患者数は例年よりもやや増加し、特に皮膚科や整形外科からの紹介が多

い傾向がありました。今後は、高周波熱凝固など最新のペインクリニック診療を行えるよう環境を整えてゆきたいと思います。

学会活動等

平成18年は学会・研究会での発表は計10題となり、投稿論文は計7題の掲載と昨年を上回る事ができました。詳細は業績集をご覧ください。

教育活動

本年度も上川北部の救急救命士を対象とした研修を行いました。生涯教育に関しては、本年よりカリキュラムを変更して、毎週月曜日と火曜日に各署より各曜日1名受け入れることにして、手術室研修・宿泊研修を1日行う体制と致しました。

本年は救命士が名寄消防署にて3名誕生したため就業前研修を20日間行いました。気管挿管実習も行われ3名の救命士が資格をとることができました。各実習に協力いただいた診療科・看護部など多くの部署にこの場を借りて感謝いたします。

その他

舘岡医師が、日本周術期経食道心エコー認定試験（JB-POT）に合格しました。全国でも200人程度しかいない専門医となりました。